

第19回東京大学教育学部附属中等教育学校公開研究会

兼 研究開発(第2年次)報告会 ご案内

東京大学教育学部附属中等教育学校

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校は「協働学習」を通しての「深い学び」の実現を目指した授業実践と研究の経験を活かしながら、昨年度から「ディープ・アクティブ・ラーニングを可能にするカリキュラムの開発」を研究主題とした研究開発指定を受け、研究を続けてまいりました。

本研究会・報告会では主に

- (1) 「総合的な学習の時間」を発展させた新教科「探究的市民科」の中の、主に「課題別」の授業に焦点をあてながら、それを通して生徒はどのような力をつけることが可能か
 - (2) 「深い学び」を目指した教科の学習と「探究的市民科」の連携はどうあるべきか
- について、研究協議を行いたいと思います。私たちもまだ試行錯誤の段階ですが、参加者の皆様から忌憚のないご意見もいただきながら一緒に考えさせていただければと思います。

記

1. 日時・場所

- 日時：2018年2月17日(土) 9:00～16:30 (受付 8:35～)
- 場所：東京大学教育学部附属中等教育学校

2. 研究主題

「ディープ・アクティブ・ラーニングを可能にするカリキュラムの開発(第2年次)」

3. 時程

8:35 ～	9:00 ～9:40		9:55 ～10:45		11:00 ～11:50	11:50 ～12:50	12:50 ～14:30		14:45 ～16:30
受付	開会 全体会A	移動	授業1	休憩	授業2	昼食	教科別 分科会	移動	全体会B 閉会

この他に「探究的市民科」に関する生徒による発表・説明・展示を予定

○全体会 A(9:00～9:40)

全体会 A では、今年度の公開研究会兼研究開発報告会のねらいおよび取り組みについての説明・報告を行います。

○授業公開 1 (9:55~10:45)

教科 (科目)	単元・題材	学年	授業者
国語①	<p>「生き直すためのことばの探究」</p> <p>複数ジャンルのテキストの読解とグループでの対話を通して、様々な困難に陥った人間が再び生き直す契機について考える。</p>	4年	勝亦 あき子
社会①	<p>「貿易」</p> <p>貿易によって飢餓がどのようなメカニズムで生じるのか。自由貿易は社会を豊かにする一方で、大きな問題を含んでいる。グローバル化した国際社会における市場経済の問題について考察する。</p>	4年	橋本 渉
数学①	<p>「積分」</p>	5年	今野 雅典
理科①	<p>「生態系とその保全」</p> <p>生態系のバランスはどのように保たれ、どのように崩れていくのか。 生徒同士の交流の中で手と頭を動かしながら、理解が深まるよう授業をデザインしたい。</p>	4年	對比地 覚
芸術 (美術)	<p>「一人で考える。みんなで考える。」</p> <p>アートとはなにか。アートをツールとして考える。</p>	1年	藤田 航
保健体育①	<p>「医薬品の正しい使い方」</p> <p>正しい情報に基づき、症状に適した一般用医薬品を選択できるようになる。 協働から個の学びへ。</p>	3年	福島 昌子
英語①	<p>「生徒がお互いに英語で情報などを伝え・聞き、考えて、表現する」</p> <p>生徒同士が英語による情報を伝え・聞くことを通じて、聴き合う関係を築きながら、情報を整理した後、考えたことを表現し共有することで学びを深めることを目指す。</p>	1年	今田 健蔵
情報・技術①	<p>「ネットワークの技術」</p> <p>単元のまとめとしてネットワークエンジニアの仕事である LAN の設計をおこなう。授業中に配付したプリントや図書館の資料を参照ながら、グループでネットワーク図を作図する課題に取り組む。</p>	5年	長嶋 秀幸

○授業公開 2 (11:00～11:50)

教科 (科目)	単元・題材	学年	授業者
国語②	<p>「物語ることばの批評」</p> <p>フィクションをフィクションとして読み、登場人物の心情を変化させたものについて対話することによって、読みの視点の相対化を図る。</p>	2年	大井 和彦
社会②	<p>「身近な領土問題」</p> <p>教科書に取り上げられている日本の領土をめぐる問題から離れて、学校所在地である東京の領土問題の争点を理解する授業を目指したい。</p>	2年	武田 竜一
数学②	<p>「円」</p>	3年	西脇 佳子
理科②	<p>「大地の変化」</p> <p>私たちの住んでいる日本列島は、世界の中でも特徴のある地形である。日本列島がどのようにできてきたのか、そのごく一部分であるが、これまで学んできた内容をもとに、せまってみたい。</p>	1年	前田 香織
保健体育②	<p>「器械運動」</p> <p>腕支持系の技を成立させる「型」を身につけ、自分の連続技をつくる。</p>	4年	浅川 俊彦
生活デザイン	<p>「子育てのための社会的支援」</p> <p>現在社会で問題となっている子育てのしにくさは、何が原因でどうやったら社会全体で子育てを支援できるかを考える。</p>	3年	井上 享子
英語②	<p>「文章構成への意識を育てる」</p> <p>わかりやすいパラグラフ構成について、生徒同士で考えたり、実際に表現したりしながら学んでいくことを目指す。</p>	4年	沖濱 真治
情報・技術②	<p>「プログラムによる計測と制御」</p> <p>コンピュータによる制御技術は現代の生産現場において欠かせない技術である。本単元では、身の回りにあふれている制御された機器はどのようにして構築されているのか、プログラム作成などを通して体験し、理解することを目標としている。</p>	3年	阿部 律彦

○教科別分科会 (12:50～14:30)

教科	分科会キーワード 及び コメンテーター
国語	「共生のためのことば」 「葛藤」 「相対化」 秋田喜代美 先生 (教育学研究科 教職開発コース)
社会	「シティズンシップ」 「知識の構造化」 小玉 重夫 先生 (教育学研究科 基礎教育学コース)
数学	「中高一貫カリキュラム」 「深い学び」 藤江 康彦 先生 (教育学研究科 教職開発コース)
理科	「広げる」「深める」「主体性」 小国 喜弘 先生 (教育学研究科 基礎教育学コース)
芸術(美術)	「面白い」 「好奇心」 「表現」 今井 康雄 先生 (日本女子大学 人間社会学部教育学科)
保健体育	「習得と主体的な学び」 「聞き合う関係」 山本 義春 先生 (教育学研究科 身体教育学コース)
生活デザイン	「育児支援」 「共生」 浅井 幸子 先生 (教育学研究科 教職開発コース)
英語	「表現活動」 「コミュニケーションを支える文法」 「チャレンジ」 齋藤 兆史 先生 (教育学研究科 教育内容開発コース)
情報・技術	『「情報・技術」科カリキュラム』 「教材」 萩谷 昌己 先生 (情報理工学系研究科)

○全体会 B(14:45～16:30) シンポジウム

新教科「探究的市民科」の成果と課題について参加者の皆様と考えます。

テーマ：「教科指導と『探究的市民科』－『課題別』授業を中心にしながら－」

パネリスト：小玉 重夫 先生 (教育学研究科教授)
中山 留美子 先生 (奈良教育大学准教授)
附属学校教員 附属学校生徒

コーディネーター：恒吉 僚子 (本校校長、教育学研究科教授)

4. 参加申し込み

- (1) 申し込み方法：本校 web サイトよりお申し込みください。2017 年 12 月中旬に申し込みフォームをアップする予定です。なお、締切人数に達した教科はお申し込みできません。あらかじめ web サイトで受付中であることをご確認の上、お申し込みください。

本校のウェブサイト【 <http://www.hs.p.u-tokyo.ac.jp/> 】
こちらから参加申し込みをお願いします。

- (2) 資料代：当日、受付にて資料代として、2,000 円を頂戴いたします。
(3) お弁当・宿泊に関して：お弁当ご希望の方は、本校 web サイトで受付中であることをご確認の上、お申し込みください。お弁当をご希望なされた方からは、当日受付にて1,000 円を頂戴いたします。宿泊施設は斡旋しておりません。
(4) 電話、ファックスでの参加申し込みは受け付けておりません。また当日受け付けもしておりません。
(5) なお、気候の状況による判断等、最新の情報は本校のウェブサイトに掲載いたしますので、ご確認ください。

5. アクセス (学校までの交通)



- 1] JR線「新宿駅」西口から 京王バス
(永福町行、佼成会聖堂前行、佼成会病院行 約15分)
・・・・・・・・・・「南台一丁目」または「東大附属」下車、徒歩1分
- 2] JR線「中野駅」南口から 京王バス
(渋谷駅行、新宿駅西口行 約12分)・・・・・・・・・・「南台交差点」下車、徒歩5分
- 3] 京王新線「幡ヶ谷駅」下車・・・・・・・・・・徒歩15分
- 4] 東京メトロ丸ノ内線「中野新橋駅」下車・・・・・・・・・・徒歩10分
- 5] 都営大江戸線「西新宿五丁目駅」下車・・・・・・・・・・徒歩15分

問い合わせ先

東京大学教育学部附属中等教育学校 研究部

〒164-8654 東京都中野区南台1丁目15番1号

TEL 03-5351-9050 FAX 03-3377-3415